

社会福祉法人焼津福祉会
焼津福祉会を支える会 広報紙

さけへし

2011 JANUARY

NO. **38**

特集
健康の管理

HOTトピックス
平成 22 年度静岡県授産製品コンクール受賞
高新田だいら公園まつり

お知らせ
第 18 回焼津福祉会作品展

運動(すいせん利用者)

健康 の 管理

健康と長生きは昔から多くの人の願いです。生活習慣病の増加や環境汚染、過労死など健康を脅かす要因は減っていませんが、医療の進歩により急速な平均寿命の伸びが達成されています。しかし、老化と共に必然的に生じる疾病もあります。疾病の克服には健康の保持や増進は重要なことで、そのためには、日頃からできる限り疾病の予防や健康増進に取り組む必要があります。健康管理を行う上で着目しなければならないのは、食事、運動そして休養の三要素と言われています。

そこで今号では、焼津福祉会の施設、事業所で行っている健康管理、特にバイタルチェックや食事、運動などについて取り上げてみました。



【食事】

「食」は元気の源です。

大井川寮



大井川寮では、毎月、給食委員会を実施しています。給食委員会では、給食業務委託会社・施設管理者、主任支援員・栄養士の各担当者が出席し、利用者さんの健康状態や体重の変化、食事で気をつけることや気になることなどを話します。そこで話しあったことを看護師と協議します。利用者さんの中には刻み食の方や、おかわりのできない方もいらっしゃるるので、職員が把握できるように表を作成し確認しながら提供しています。健康状態に変化があった場合はその都度、支援、看護師、厨房と連絡を取り合い、利用者さんがスムーズに食事がとれるよう食べやす

い形を刻み食や粥食などに変更しています。

又、二ヶ月に一度、利用者さんの好きなメニューや行事に合わせたバイキングを実施しています。利用者さんが美味しく食べている顔を見たり、食べ終わってから「美味しかったよ！」と声をかけていただくことも嬉しく、心が温かくなります。

これからも利用者さんに健康で楽しく食事をしていただけるよう今以上に努力していきたいと思

います。栄養士



【予防】

子どもの健康を守るために

ポプラ学園

子ども達は、集団生活をしようになると、色々な感染症にかかる機会が増えます。

子どもは大人と違い、症状が急変する場合があります。ぐずる事が多かったり、いつもより静かであったりなどの小さな変化に気づいた時は、早期受診が大切になります。

小児の身体的特徴などを考慮した上で、訴えの少ない子ども達が重篤な状態にならないよう一人ひとりに合わせた対応はとても大切です。

ポプラ学園では、保護者の方々の協力を得ながら、「感染源」となるものを持ち込まない、うつさない事を心がけています。

外出後の手洗いと水分補給はもちろんですが、各部屋やトイレに刺激の少ない塩素系消毒液を常備し適宜対応しています。バス乗車時や園の入口では、来園児者全員に、必ず手指消毒をしていただき、予防に努めています。



看護師

感染予防徹底しています！

ワークすばる

寒い冬がやってきました。インフルエンザやノロウイルスが流行し始めました。ワークすばるでは、感染予防として以下の事柄に気をつけて毎日生活しています。

- ・手洗い・うがい・手指消毒
- ・塩素系消毒液による床掃除
- ・インフルエンザ予防接種
- ・マスクの着用

手指消毒は初めインフルエンザが流行する冬場だけ行っていましたが、昨年、梅雨時期に新型インフルエンザが流行したことがきっかけで1年間を通して手指消毒を徹底することになりました。今では、どの利用者さんも登所すると手洗い・うがい・手指消毒が習慣になりました。集団生活の中では感染症は切っても切れない関係です。一度に沢山の利用者さんが感染症に負けないよう今後も徹底して行っていききたいと思います。



バイタルチェック

ゆりかもめ

ゆりかもめでは週1回、看護師によるバイタルチェック(健康チェック)として体重、血圧、腹囲等の測定を行い、利用者さん一人ひとりの体の状態の把握をしています。

利用者さんの急な体重の増減、血圧の変化、定期通院での採血数値の把握・説明など、気になる症状や数値が見られた場合はすぐに家庭、支援員への連絡を行い、通院の相談も行っていきます。

定期的に行っているバイタルチェックは、その都度表に記録し、月ごとにグラフ化することで利用者さんにも分かりやすく、ご家族の方も健康管理の参考にしていただけます。通所施設で行う健康管理は限られてしまいますが、定期的にバイタルチェックを行うことで健康状態を知ることができ、心身の変化や病気の早期発見につながります。



【運動】

運動でリフレッシュ！

すいせん

「健康」と一口に言っても様々ですが、運動・体力作りも「健康」につながるキーワードです。生活介護いせんでは、日中活動のひとつとして運動の時間を設けています。夏の暑い日や雨などにより、外で運動ができない時に、福祉センターほほえみのヘルスルームをお借りして、ウォーキングマシンやエアロバイクを使って体を動かしています。短時間で効果の出るものではないですが、気分転換につながっていることと、日常生活で習慣化しにくい運動を継続して行うことが挙げられます。

施設の活動風景



●ワークすばる

●ゆたか

子ども達の放課後の楽しみの1つとして定着してきている放課後児童クラブ「色えんぴつ」と「くれよん」。活動内容をご紹介します。

平日の活動

15:00-学校から帰ってきます。



ドライブ、今日はどこへ行くかな？



工作大好き

18:00-おうちの方のお迎え

公園の1番人気はやっぱりブランコ

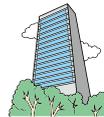


個々のペースに合わせて過ごします。

放課後児童クラブ

色えんぴつ くれよん

登録・申し込み方法



1. 地域福祉課又は、大井川サービスセンター福祉担当窓口、色えんぴつ・くれよんで【申請書】をもらう。

2. 色えんぴつ・くれよんで面接を行う。
【申請書】を提出する。



3. 地域福祉課から、【登録通知書】が送られる。★登録完了★

並行通園

幼稚園・保育園の生活の中で不安や悩みを抱えているお子さんや親御さんを対象に、一人ひとりにあったやり方・コツと一緒に考えていきます。



園訪問

心理職員・担当職員が幼稚園・保育園に伺い、お子さんと一緒に行動をしながら、療育についての助言や援助をおこないます。



※随時電話相談を受け付けています。
(8:30~17:15)

住所 焼津市大覚寺629
TEL・FAX 054-627-0600

ポップラ学園

地域療育を高める為の研修会

この研修は発達に何らかの心配を持つ子どもさんや親御さんが地域で安心して楽しく暮らせるよう、幼児期における発達支援に関わる先生、県や市の関係機関と共に学ぶ事を目的としているものです。

「子どもにとって幸せな支援」を考え、職員一人ひとりが研鑽し、よりよい支援や連携が出来るよう努めています。

親子教室

未就園児を対象にした療育教室です。発達につまづきがみられる子どもさんの相談にのりながら、育ちにとって必要な手立てや支援と一緒に考えながら子育ての応援をしていきます。

体験前

どんな食事をしているのかしら？

世話人さんは、いつもいてくれるのかしら？

グループホーム(GH)
ケアホーム(CH)

気になることが沢山！

遊びに行ってもいいのかな？

病気のときは見てくれるのかしら？

夜は寝られてる？朝は起きられてる？

お友達と仲良く生活しているのかしら？



保護者

本人や保護者の不安は沢山あって当然です。家族の協力をいただきながら、各事業所が連携をとれるように話し合いを行います。

例えば… 帰省方法編①

自宅とグループホーム・ケアホームでの生活の精神的なバランスを考え…

STEP① 金曜日(夕方)～月曜日(朝)まで自宅

STEP② 金曜日(夕方)～日曜日(夕方)まで自宅

帰省方法編②

① 隔週または毎週 ご本人の状況に合わせて検討します。

すびか職員会議でA事業所の職員よりご本人の様子について説明をさせていただいています。共通理解と共通認識を持ち、各事業所が本人と家族を支えていく準備をします。

体験入居の流れ

A事業所 担当者との面談



本人・家族・A事業所・すびかでの面談
(管理者・担当者・サービス管理責任者)



地域福祉課との5者面談
(体験入居サービス利用申請)



体験入居利用支援決定



すびか職員会議にて、A事業所担当者より
レクチャー



引越し



体験入居 START!!

洗濯中

不安

洗濯できるかな？



本人



1

職員登場

こんばんわ！
洗たく一緒にやろう！

A事業所職員



本人

職員だから安心して何でも聞ける！

いつも関わっている職員と一緒に洗たくをすることで安心しました。



次の日

洗たくを見守ってみよう！

今日は、世話人さんと一緒にやってみようかな！



A事業所職員



世話人



本人

世話人さんにも慣れ、一緒に
行うことができました。

3

4

よし今日は一人で洗たくをして職員や世話人をおどろかせてやろう！



本人

ある日



体験後の家族のコメント

- ・ケアホームが家庭的な雰囲気です。安心しました。
- ・ケアホームから帰ると、以前の生活に戻ってしまった。本人がやれることも家族が手を出しがちになっていることに反省。
- ・本人達の希望(土・日は家に帰りたい)という方法を検討してくれた事で本人・家族も安心して送り出すことができました。

A事業所職員のコメント

- ・利用者さん達の不安を取り除けるよう「すびか」との連携を密にとり合いました。
- ・洗濯や入浴・通所方法などあらゆる場面で介助・見守りをする事で、利用者さんそれぞれが、安心して生活を送れるようにしてきました。

利用者さんのつぶやき

- ・世話人さんや入居者と仲良くなれた。イベントなどで会うと、声を掛けてくれるので、うれしい。
- ・買い物へ行くと、自分で選んで買うことができ楽しかった。
- ・また体験入居をしてみたいな(^o^)

すびか職員からのコメント

金曜日の朝は嬉しくてワクワクしています。

- ・家族が元気だからこそ、週末に会える楽しみがあります。
- ・初めてのホームでの生活。家族にも来訪していただき、ホームでの生活を見に来ていただけます。これは、保護者の方が元気だからこそできる事です。

HOTトピックス

平成22年度 静岡県授産製品コンクール

平成22年11月17日、障害者働く幸せ創出センターにて「平成22年度静岡県授産製品コンクール」が開催されました。

虹の家の縫製作業班が作成した「鯉のトートバッグ」が県知事賞、「魚ボタンシヨルダールバッグ」がオールしずおかベストコミュニケーション理事長賞をそれぞれ授賞しました。

12月10日には、縫製作業班の利用者さんと共に焼津市長に授賞の報告と商品の紹介のため、焼津市役所を訪問しました。焼津市長から「焼津を元気にする製品として、応援をしたい。」との意見を頂きました。また、利用者さんにも「今後も頑張つて作業に励んでください。」と声を掛けて頂きました。



●障害者芸術祭表彰式



●利用者が焼津市役所を訪問



●授賞作品のトートバッグを焼津市長に紹介

高新田だいら公園まつり

大井川寮・すいせん

10月11日、大井川寮近くにある高新田だいら公園にて「高新田だいら公園まつり」を開催しました。このイベントは、地域の方々との交流や親睦を図ることを目的とし、近隣の福祉施設（大井川睦園空と大地と、すいせん、大井川寮）の主催により、今回初めて開催となりました。内容は各施設による模擬店やゲーム、バンド演奏の他、地元高新田町内会による「鹿島ばやし」も披露されました。

当日は地域の方々も多数来場してくださり、大盛況のうちには終了することができました。高新田町内会の皆様には準備から片付け、模擬店の販売等、積極的なご協力に感謝申し上げます。深く感謝申し上げます。



全国障害者スポーツ大会出場!!

虹の家

10月に千葉県で開催された第10回全国障害者スポーツ大会、ボウリング競技成年女子の部に静岡県代表として、虹の家の藤田志保さんが出場しました。出発前日には激励会を行い「頑張つて」と皆でエールを送りました。

試合当日は、1人4ゲーム総合得点の結果で争われました。不安と緊張の中での競技でしたが、一生懸命練習した努力が実り、みごと銀メダルを獲得することができました。



施設にもメダルを持参し、とてもよい笑顔で報告をしてくれました。皆で銀メダル獲得を祝い喜びを分かち合いました。

介護保険外部サービス利用について

養護老人ホーム 慈恵園

平成18年4月から介護保険法の改正により養護老人ホームでも居宅と同じように介護保険サービスの利用ができるようになりました。

入所してきた時は自分でできていたことが加齢に伴い手助けが必要となります。しかし、職員の支援だけでは限界があります。

そんな時、慈恵園では入浴や居室の整理、整頓、清掃、衣類の片づけ衣替えなどを外部のヘルパーさんをお願いして一緒にできることは一緒にやり、できないことはお願いしています。

また、市内の介護保険事業所にてデイサービスを利用していただく方もいます。それによって、ホームでの入浴が困難だった方が機械浴によりお風呂に入れるようになったり、一日中居室で過ごしていた方が事業所にて他者とのコミュニケーションをとることに刺激が生まれ、いきいきとした表情が頻繁に見られるようになったりと効果が上がっています。

日中リハビリをしたり、いろいろなプログラムに沿って活動し入浴もして我が家へ帰ってくるような笑顔で、「楽しかったよ、ありがとね」と言って帰園しています。



ヘルパーさんによるお風呂介助

みんなの心

《寄付金・寄付物品ご協力者》

(株)アウタースペース 法月典子
 明るい社会づくり運動焼津地区協議会
 石川雅章
 石野廣秋
 池谷金苗
 池ヶ谷さち
 井之谷庄平
 梅原吉弘
 海老岡里己
 日下部有紀
 孝道山マイトリー委員会
 近藤けいこ
 竹工芸教室
 多々良勝二
 玉谷美和子
 長岡医院
 なすび
 (株)日本たばこ産業静岡支店
 法月静
 合同会社ハピネス カープス焼津大村
 藤枝特別支援学校
 増田聖子
 増田龍二
 村松鈴子
 焼津市仏教会
 (株)焼津水産振興センター
 焼津市民生児童委員協議会高齢者福祉部
 焼津ボートクラブ事務局長 杉崎一夫
 山崎すゞ子
 山田篤史
 山田しず江
 山田節子
 山本魁
 和紙工房

《ご招待》

大井川吹奏楽団
 松内功
 松永洋子
 松永良夫
 松本佑衣子
 待井栄
 見崎綾
 見崎順哉

《ボランティア》

青木恵子 青木七星
 明るい社会づくり運動焼津地区協議会
 網野結 有ヶ谷晴代
 有田啓子 石上志保
 石川志郎 石野邦代
 池谷彩 池谷佳代子
 伊藤萌香 岩崎兆秀
 岩本友子 梅原ともよ
 大塚恵利奈 大橋道代
 小川昌美 落合圭子
 掛川新緑会 片山さち枝
 金田雅行 狩野裕子
 上栗夕大加 河原崎秀子
 けい美容室 小石明恵
 小坂橋道代
 孝道山マイトリー委員会
 小長谷和美 小林美紀
 酒井樹莉 佐藤秀夫
 佐藤文雄 佐藤泰子
 静岡家庭教育サポート協会
 静岡銀行黒潮会
 静岡県眼鏡商業協同組合志太様原支部
 シンバ時計店 杉山安代
 鈴木恵子 鈴木幸恵
 滝恵美子 田中操
 塚崎喜美雄 戸塚英子
 鳥居孝子 中野富士恵
 長谷川真帆 原川洋子
 ひまわりの会
 ビューティー・ハラキ 平井恵
 平井智恵子 深沢龍
 広瀬順子
 福川達哉
 福昌院 浜田健士
 藤田小夜子
 増田諒一

平成22年6月から
 平成22年11月まで
 (以上敬称略)



焼津福祉会を

支える会だより

支える会に

ご理解とご協力を

焼津福祉会を支える会々長

五条 光男

平成23年の新春を迎え、年頭に当って今年はいよいよ年でありまますようにと念願するものであります。常日頃焼津福祉会を支える会のために、御理解、御協力をいただき有り難うございます。私達の周囲には、障がいを持つ人達が大勢居られます。そうした人達のために、少しでも役に立ちたいものと、支える会に御入会をいただいております。

私達の支える会は、焼津福祉会の事業に対しての後援活動でありまして、そのためには会員としては、法人と個人とがあり、個人は一口五〇〇円以上、法人の場合は、五〇〇〇円以上となっております。現在大勢の皆さん方に、会員

になっていただいておりますが、更に会員を増やしてゆきたいものと思ひ、一人でも多くの人に会員になっていただければと、念願するものであります。

この頃の社会情勢は、政治、経済、外交など、不安な要因ばかりであります。今年こそは明るい社会でありますように、健常者と障がい者が心を合わせて、明るい社会の建設に向かって、進んでゆきたいものと思ひます。



お知らせ

第18回 焼津福祉会作品展

施設利用者の作品を
より多くの皆様に見ていただきたいと思ひます。
是非ご来場ください。

日時 平成23年2月10日(木)～13日(日)
会場 焼津市ふれあいホール「エコリオ」
時間 午前9時～午後5時(最終日は午後3時まで)
内容 絵画、書、手工芸



ゆたか



花・はな

作品展に向けて

花・はな

日頃の創作活動の集大成として「花・はな」の利用者さんは作品展への出品を行います。どれも制作時の思い出が詰まった素晴らしい作品ばかりです。

そして、利用者さん一人ひとりが何らかの形で携わって制作する共同作品では大きな千切り絵を作っています。和紙に色を塗って千切りの作業から、大きな模造紙に細かな和紙を一枚ずつ丁寧に貼っていきます。是非とも、会場でご覧下さい。

ゆたか

今年度の焼津福祉会作品展に向け、個人作品もグループ作品もコツコツと準備が進められています。貼り絵を制作する利用者さんたちは、みんなで貼りつけるための画用紙の準備をしています。また、別のグループではペットボトルの蓋を何ヶ月も前から集めて色別に仕分けを進め、干支のうさぎの絵を仕上げる予定です。キャップ集めは施設外の方たちにもご協力していただきました。今回もどんな作品が出来上がるのか楽しみです。

◆ 編集後記 ◆

新年あけましておめでとうございます。

ちょうど1年前は、インフルエンザが大流行しマスクが足りない情報がありました。今回は「健康」をテーマにとりあげました。風邪も不安も吹き飛ばし「健康」で一年間を過せますようにお祈り申し上げます。